

死の相聞歌1

この盃に盛られた毒を
私は飲み干すのよ
愛という名の毒を

ああ、私を止めないで
たとえそのために息絶えようと
かまいはしない

貴方の口からしたたる
一滴、一滴を集め
今、この盃は満たされたの

私には信じられませんでした
このような美しく、甘く
そして苦い毒があるなんて

初めてその一滴を口にしたとき
私は恐怖にあおざめ
そして幸福にうちふるえたの

気が遠くなるような陶酔と
身を切るような哀しみが
私の身体をさらってゆく

この毒には
全ゆる解毒剤は無意味です、ましてや
誰にも癒すことはできないの、愛する人でさえ

さあ、飲み干しましょう
この盃に盛られた毒を
愛という毒を

(1999.9.30)